



19950205
[9409]
総18号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

阪神大震災に学び 災害に強い街づくりを

桂坂・自主防災会会長

菊池潤治

去る一月一七日未明、予
期せぬ大地震に見舞われ、
京都は大丈夫との安全神話
が脆くも崩れ去りました。

この度の阪神大震災で犠
牲となられた方々のご冥福
を心からお祈り申し上げま
す。

地震の発生直後は、これ
程までに被害の拡大するこ
とは予想だにしませんでした
が、日時の経過とともに被
害の甚大さに唖然といたし
ました。

この機会に、桂坂の安全
対策はどうかについて考え
ていきたいと思いますが、
その前に、今回の地震発生
後に取り組まれた当地の支
援活動等を紹介させていた
だきます。

緊急役員会
救援対策を協議

自治連合会では二〇日夕
刻、緊急役員会を開催し、
救援対策について協議しま
した。この席上、各役員か
らまず次のような報告があ
りました。

■ 車は通行できないので
バイクで現地に飛んだ。
地獄そのものの惨状で、

一刻も早く救援の手を差
しのべなければ……

被災者の姿をテレビで
見て、じっとしておれず
おにぎり百個を背負って
配って回った。

■ 衣類は着れるだけ着こ
み、リュックサックには
缶詰、食料品を詰め込ん
で現地へ行き、一枚一枚
服を脱いで手渡した。

被災者であれば相手は誰
でもよい、困っている人に
配ればそれでいい、明日も
明後日も行く——と、すで
に行動に移している人もい
る、今は考えているような
時ではない、私たちが出来
ることを早期に実施するこ
とが肝要だと役員会で判断
し、役員総意の下に衣類
を中心とした物資の救援活
動を実施することになりま
した。

衣類は、防寒着・上着・
ズボン・スカート・男女子
子供などで、洗濯した清潔
なもの、
肌着類は、新品に限る、
などの一応の基準を示し、
桂坂全域のみなさんに放送
を通して協力要請を行いま
した。

や洛西高島屋へ奔る一幕も
ありました。
皆さんの心の連帯
救援物資 被災地に
そして二四日早朝には搬
出準備が全て整い、京都市
のご指導の下、桂坂自治連
合会名を付して一括、京都
府向日町地方振興局へ搬入
することになりました。

トラック・ワゴン車を提
供して下さった方をはじめ
自家用車を持ちつけれられ
搬作業に従事される人々の
輪は次第に広がり、十数台
の車が列をなして向日町へ
三往復、全物資を無事届け
ることができました。

この会は、自らの街は、
自らが守らねばならないを
基本として、自治連合会・
各種団体・各学校・会社・
事業所および各施設の総合
防災組織です。

標旗、ヘルメットも備え
られ、シンボルマークまで
制定されました。五月には
自主防災会総会を開催、西
京消防署員による各種応急
手当・救急蘇生法等の実技
指導を受けました。九月に
は自主防災会のリーダー研
修を目的に京都市消防学校
に半日の体験入学、十一月
には大地震を想定した総合
防災訓練を桂坂小学校にお
いて実施、洛西支所長の訓
示、消防署長からの講評を
いただき、通報要領・初期
消火・人工呼吸・煙中避難
訓練などを体験しました。

また訓練の後には、炊き出
しのせんざいをいただき、
盛り上がりました。

このように徐々にではあ
りますが、防災の意識は昂
揚しつつあります。要は頭
で考えているだけでは「い
ざ」の時、何もできないの
です。本年も防災計画に基
づき諸行事を実施いたしま
すが、より多くの皆様のご
参加とご支援をお願いいた
します。

道路網などの
安全対策を要請

その他、広義の安全対策
として、洛西支所・警察・
消防・土木等各官庁との連
携を密にして、種々の要請
を行っておりますが、次の
事項については実施される
見込みとなりました。

桂坂学区の
防災のとらきみ

越し禁止等標識の新設、横
断歩道、危険箇所夜光灯
の設置などのほか、センタ
ーゾーン開発時には信号灯
が設置される方針で、現在
検討中です。

さらに、住宅関連業者の
西洋環境開発・住宅生協・
住宅整備団に対して、
地下水の補給対策、貯水槽
の増設、公衆電話の増設等
について要望したところで
す。

平素の心構えで
災害に強い街を！

最後に、身近な問題です
が、各ご家庭では「我が家
の防災マニュアル」を既に
お考えのことと思います。
今回の地震の被害が拡大
した原因の一つとして、水
対策の不備、情報不足によ
る避難誘導の措置が遅れた
ことが挙げられます。

「グラッ」ときたら先ず
消火。枕元には懐中電灯と
ミニラジオを置き、緊急持
出し袋も常備していただき
たいと思います。

平素の心構えを十分に、
災害にも強い街を築くため
に、区民各位の一層のご支
援とご協力を切にお願い申
し上げます。



日本赤十字社・京 会長会議で検討の結
都府支那西京地区 果、左記の要領で、
長から義援金の協力 自治会ごとに集める
要請がありました。ことになりましたの
桂坂学区自治連合 会で、よろしくお願
会におきまして自治 申し上げます。
◎ 期 間：二月十七日(金)まで
◎ 義援金：一口 一〇〇〇円以上
何口でも結構です。

去る一月二〇日、この桂
坂の開発に関係する業者と
自治連合会との懇談会が開
かれました。

業者は、西洋環境開発、
住宅生協、住宅整備団の
三者。

I：私たちが関心を抱き、
早期実現を願うセンター
の「開発計画」につい
て、西洋環境開発から次の
ような説明がありました。

核となる店舗は、生鮮食
料品・日用品を重視した食
品スーパー。他にクリーニ
ング、美容院やDPを含む
物販店です。

なお同時に、駐車場料金
が高(一萬三千円〜一万
五千元)、もう少し安い駐
車場の確保はできないかと
の要望も出されました。

ふれあい会館は、一月二八日より
三月二二日まで、阪神大震災の
被災者の方のための、京都市の避難
所として指定されました。当面百人
の被災者を受け入れる予定です。
この間は一切の通常業務を停止し
て閉館となり、宿泊・研修のご利用
が不可能となります。
地域の皆様方にも何かとご迷惑を
おかけいたしますが、ご協力方よろ
しくお願いいたします。
なお、付属施設のレストラン『ベ
ルデ』は平常通り営業いたしますの
で、ご利用下さい。

ふれあい会館 知らせ

夢を語る

車の挨拶

しらかば自治会
喜多 康雄

桂坂に移り住んで以前と比べて良くなったことが数々ある。例えば風呂が居間からワンタッチで沸かせ、お湯の量・温度ともに程よく仕上がる。ウツカリ空焚きの危険が増す老夫婦所帯にとっては有難い。それにも増して家の周りの環境が大変良い。先ず空気がきれいで静か、道路が良く整備されている。歩道や並木も美しい等々。小生は山の手俱樂部歩こう会のメンバーだが、桂坂は適度な起伏もあり、朝の散歩のコースに最も恵まれた地域ではないかと思っている。

洛西ニュータウンも含め

周辺の道路も良いので車を運転していても快適で以前より疲れない。しかし桂坂では車がないと不便なことも事実で、正に車社会でもある。

そしてJR向日町駅まで人を送るとなると、スレ違いも難しいほどの狭い道を通らなければならぬ。

こういふ道で対向車が車を端一杯に寄せて通り過ぎるまで待つてくれたとき、通りぎわに感謝を表すつもりで右掌を挙げたりするのだが、夜間はお互い顔も見えないので、それでは意を伝えられぬ。昼間でも相手は当方のフロントガラスの

中まで覗く余裕もないかもしれない。音で感謝シグナルを出せればよいのだが、警笛は威嚇の響きが強く「おおきに」からは程遠い。警笛ボタンを瞬間だけうまくポンと叩いてやれば、威嚇でなく感謝だと思ってもら

えそうだが、当方も夜の狭い道の運転でそんな芸当をしている余裕はない。なんとも吾ながらつまらぬ悩みではあるが、「環境足って礼節を知る」ようになったためか、桂坂に移り住み頻繁に自家用車を運転している小生のきょうこの頃の悩みである。



桓武天皇と長岡京

今回は、散策は一休みし大枝と深い関わりを持つ桓武天皇と長岡京の歴史をふり返ってみます。

光仁天皇の長子であった山部親王(桓武天皇)は、天応元年(七八一)四十五歳で第五十代の天皇となり次々と新しい改革をし、延暦三年(七八四)、都を奈良から長岡へ移すことを決心します。ではなぜ、長岡

桂坂の初夢

かえて自治会
松尾 隆夫

「富士山は見えんな、鷹は飛んどうんな、茄子はなつとらん」な、「あ、今日は雪や初雪や、タウンセンターの(銭湯の湯)は今日からやってほるさかいみんな入りに行こか」「お爺ちゃん連れて行って」と正月に帰ってきた孫にせつつかれる。

元旦の朝の会話である、雪のなか野鳥園の小鳥がさえずり、道ばたには雪をかぶった寒椿が咲き、その中を香の湯へ孫と一緒に転ばぬよう足を運ぶ。

きてはる、きてはる近所の人が大勢「おめでどうさん、おめでどう」と挨拶が飛びかう。暖かい大きな湯ぶねにつかっつてのんびり話

の地を選んだのでしょうか。桓武は、光仁天皇と高野新笠の間に生まれました。新笠の父・和乙継(やまとおとつぐ)は、百濟からの帰化人の子孫で、母は土師真珠(はじのまいも)ですが、この真珠は河内の百千鳥から山城の大枝に移った一族といわれ、物集女(向日市)という地名は、その名残といわれています。

高野新笠は、母方の土師氏のもとで成人し、夫の白壁王(光仁天皇)との間に生まれたのが山部王です。そして、この山部王もまた母方の土師氏のもと、大枝の地で育ちます。当時の真

族の結婚は、夫が妻のもとに通う妻問婚(つまどいこん)でしたから、子供が妻のもとで育てられるのは普通のことだったのです。後に桓武天皇が長岡に都を定めたのは、こういった背景があったからともいわれています。もちろん、丹波への交通の要地であり、水陸にまたがる交通の便、地形など、都としての条件も備えていました。また、桓武と親しくしていた大枝の豪族たちの協力も都建設の要因となったでしょう。長岡京は、完成時には、東西四キロ、南北五キロ。平城京より一回りも大きな

がはずみつい時を過ぎす。

「センター内のレストラン花の木亭は開いてまっせ」と誰かが発言「ちよっと一杯やっていきまひよか」と話が始まる。孫をおばあちゃんにまかせ数人と花の木亭へと、顔を真っ赤にした所で誰かが「△さんとこ昨日のジャンボ宝くじ抽選一億円あったらしいよ」「へー又一軒買わはるのと違うか」と羨ましいはなしが飛び出す。「帰ってお雑煮いおたら小世谷川駅から地下鉄乗って松尾神社へ初詣にいきまんね」という声を聞いた所で目が醒めた。初夢か、惜しかったなあ。

桂坂について
『夢』を語る
原稿六〇〇字前後
ご寄稿ください

の炎上という事件まで起こりました。

こうした一連の出来事が早良皇太子のたたりだという噂が広がり、苦しんだ桓武天皇は早良皇太子に崇道(すどう)天皇の名を贈りその霊を慰めたのです(左京区上高野の崇道神社)。それでもまだ心安まらぬ天皇は、とうとう平安遷都を決意したのでした。

こうして、長岡京は、わずか十年で短い歴史の幕を閉じたのです。

賛助会員募集の御礼
桂坂社会福祉協議会
会長 湯浅 忍
平成六年 実績額
四七七、八四〇円
六七七、四九四円

夜光灯

桂坂にも近く幾種類かの交通標識が新設されます。これまでは、「住民のマナーで標識などのない、住みやすい街づくりをしよう」とを合言葉に桂坂の道路環境は設計されてきたようです。しかし最近、交通事故の増加にともない標識等の新設を考えざるをえなくなりました。

今回、夜光灯の新設されたのは、事故多発の危険箇所——「天蓋公園前」から「西桂坂」に向かってバス停を出てすぐの、右にカーブするところです。

黄色い反射灯が歩道の緑の石に埋めこまれており、夜は車のライトで黄色の点線が浮かびます。物理的には危険防止の対策がとられました。後は私たち運転するもののマナーの問題。カーブではスピードを落とせる心のゆとりをもって運転しましょう。

発行遅延のお詫び
この『桂坂』一八号は発行予定の一月二四日より大幅に遅れてしまいました。桂坂社会福祉協議会、並びに「桂坂の夢」を語っていただいたお一方には大変ご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。

編集委員のうち「文選」担当の仕事が輻輳して混乱を来したのが原因です。今後はこのようなことのないよう努めますので、寛恕のほどお願い申し上げます。

講師 富奥ケイ子さん
日時 二月二六日(日)
午後 一時より
場所 特別養護老人ホーム
沓掛寮三階会議室
〇三三一一二九四
主催 桂坂社会福祉協議会